

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆北朝鮮の核実験に対し抗議文を送付
- ◆核兵器廃絶に向けた取組の推進を求める要請文を日本政府に提出
- ◆青少年「平和と交流」支援事業を実施しました
- ◆国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう!
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組を実施してください
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆「核兵器禁止条約」に関する市民署名活動についてのお知らせ
- ◆平和首長会議情報システムについてのご案内
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 162カ国・地域 7,439自治体

~~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック!

ウェブサイト: <http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック: <https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね!」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*

=====

◆北朝鮮の核実験に対し抗議文を送付

[9月3日]

=====

9月3日、朝鮮民主主義人民共和国が6回目となる核実験を実施したことに対し、平和首長会議は、同国の金正恩国務委員会委員長に抗議文を送付しました。抗議文の中では、全ての核兵器と核計画を即刻放棄し、国際社会との対話と協調による外交努力を誠実にを行うよう強く要請しています。

▼抗議文(平和首長会議ウェブサイト):

(英語原文)

http://www.mayorsforpeace.org/english/statement/protest/data/170903_protest_en.pdf

(日本語訳)

http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/protest/data/170903_protest_jp.pdf

=====

◆核兵器廃絶に向けた取組の推進を求める要請文を日本政府に提出

[8月23日]

=====

8月23日、平和首長会議副会長である田上長崎市市長と杉浦広島市東京事務所長(広島市長代理)が外務省を訪問し、核兵器廃絶に向けた取組の推進について、内閣総理大臣宛ての要請文を河野外務大臣へ提出しました。長崎市で8月9日に開催された「第7回平和首長会議国内加盟都市会議総会」での決定に基づくものです。また、第9回平和首長会議総会において採択した「ナガサキアピール」と「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」も併せて手渡しました。

▼記事全文(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/openletter/170823_requestletter.html

▼要請文(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/openletter/data/2017/170823request_jp.pdf

=====

◆**青少年「平和と交流」支援事業を実施しました**
[広島市]

=====

平和首長会議では、昨年度から青少年「平和と交流」支援事業を実施しています。被爆者の体験や平和への思いなどを学び、相互交流を深めてもらうために広島市等が実施している既存事業に国内外の加盟都市の青少年が参加する場合には、その経費の一部を支援するものです。なお、既存事業のプログラムに加え、平和首長会議の独自プログラムを実施しています。

●**HIROSHIMA & PEACE**

主催は広島市立大学（国際学部）で、世界中から集まった学生等が、「ヒロシマと平和」を英語で学び、討論する夏期集中講座です。8月1日（火）から9日（水）に実施された同講座には、平和首長会議の支援を受け、新潟県上越市や英国・マンチェスター市など9都市から9名の青少年が参加しました。一行は、大学のプログラムに加え、平和首長会議が実施する独自プログラムに参加し、平和への取組について意見交換等を行いました。

▼HIROSHIMA and PEACE 平和首長会議独自プログラム実施の様子（平和首長会議フェイスブック）：
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1781667648760627>

●**青少年国際平和未来会議 2017 ヒロシマ**

主催は青少年国際平和未来会議 2017 ヒロシマ実行委員会で、広島市及び姉妹・友好都市等の青少年による平和貢献をテーマにした交流活動です。8月4日（金）から8月14日（月）に実施された同会議には、平和首長会議の支援を受け、スペイン・グラナダ市やブラジル・サントス市など6都市から6名の青少年が参加しました。8月11日（金）に行われた平和首長会議独自プログラムでは、ランディ・ライデル広島平和文化センター専門委員による講義の後、6名の青少年が全参加者に向けて派遣元都市での平和への取組について発表を行いました。

▼青少年国際平和未来会議 2017 ヒロシマ 平和首長会議独自プログラム実施の様子（平和首長会議フェイスブック）：
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1783405035253555>

●**ひろしま子ども平和の集い**

主催は広島市ほかで、平和記念式典参列のために広島市の内外から訪れた子どもたちが平和のメッセージを発信するものです。8月6日（日）に開催された集いには、平和首長会議の支援を受け、福島県いわき市から高校生2名が参加し、「核のない世界を目指して～福島からのメッセージ～」というタイトルで発表を行いました。一行は翌日、平和首長会議が実施する平和プログラムに参加し、被爆体験伝承講話や平和首長会議の説明を受け、平和への思いを新たにしました。

●**ヒロシマ平和セミナー**

主催は広島市立大学（広島平和研究所）で、平和及び国際関係に関心を有する大学院生、公務員、メディア関係者等を対象とする集中講義です。8月25日（金）から27日（日）に開催された同セミナーには、平和首長会議の支援を受け、神奈川県相模原市及び長野県松本市から若手公務員2名が参加しました。一行は同セミナーを受講するとともに、平和首長会議が実施する独自プログラムに参加し、平和記念資料館の見学、被爆体験講話の受講等を行いました。

本事業の詳しい報告は、後日平和首長会議ホームページに掲載予定です。

=====

◆**国際平和デー（9月21日）記念行事を開催しましょう！**

=====

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。今年の「国際平和デー」のテーマは「平和のために力を合わせよう：すべての人の尊重、安全、尊厳のために（“Together for Peace: Respect, Safety and Dignity for All”）」です。

平和首長会議もこの趣旨に賛同し、その行動計画において全ての加盟都市に記念行事開催を呼び掛けていくことを盛り込んでいます。本年は6月20日に配信した『平和首長会議ニュース（2017年6月）第90号』により全加盟自治体へ100日前メッセージを送付しています。

つきましては、各加盟自治体におかれましても、こうした趣旨をご理解いただき、2017年の国際平和デー記念行事を開催して下さいますようお願い申し上げます。

また、今年も引き続き、岐阜県高山市から加盟自治体に対し、高山市が市内の寺社等の協力を得て実施する一斉鐘打の取組に賛同し、9月21日正午に一斉鐘打を行っていただくよう依頼がありました。

各加盟自治体におかれましても、国際平和デーの記念行事の一環としてこの取組へのご協力をご検討いただければ幸いです。なお、高山市の呼び掛けにご協力いただける自治体におかれましては、メールで高山市（担当部署：協働推進課）にお知らせいただきますようお願いいたします。

▼高山市からの依頼文（平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/2017/Request_from_Takayama_City.pdf

▼高山市役所協働推進課Eメール（担当：山本様）：

kyoudou@city.takayama.lg.jp

▼平和首長会議事務局からの依頼文（平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/2017/Request_from_MfP.pdf

▼国際平和デー（2017年9月21日）100日前メッセージ全文（平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/maillmag/pdf/170613_IDP100day_message_J.pdf

▼International Day of Peace 21 September（英語）（国連ウェブサイト）：

<http://www.un.org/en/events/peaceday/>

* 貴自治体で開催する国際平和デー記念行事の内容について、次のメールアドレスまでご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆平和首長会議行動計画（2017年-2020年）に掲げる取組を実施してください

=====

先月、長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画（2017年-2020年）」が策定されました。この計画に基づいて、核兵器のない世界の実現に向け、国際世論を醸成・拡大するための取組を実施してください。

▼「平和首長会議行動計画（2017年-2020年）」（平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

今月号の平和首長会議ニュースでは、この行動計画に盛り込まれた「『広島・長崎講座』の普及」についてご紹介します。

●「広島・長崎講座」の普及について

被爆の実相や戦争の悲惨さ、核兵器の非人道性、平和の尊さなどを、学術的に整理、体系化し、学問として普遍性を持たせた大学（大学院を含む）の講座を「広島・長崎講座」として認定し、その普及を図っています。加盟自治体の皆様においても、貴自治体内及び周辺の大学に、「広島・長崎講座」について、是非ご案内ください。

▼「広島・長崎講座」については、こちらをご覧ください。（平和首長会議ウェブサイト）

http://www.mayorsforpeace.org/jp/hnpc/hnpc_top.htm

=====

◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第35回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

被爆地の思いを世界に届けるために、大きな役割を担ってきたナガサキの大切な2人を失いました。残念でなりません。谷口稜暉（たにぐち・すみてる）さんと、土山秀夫（つちやま・ひでお）さんです。

背中一面が血で真っ赤に染まり、顔をゆがめる少年一。原爆の熱線で皮膚が焼かれた谷口さんを撮影した米軍のフィルムが残っています。長崎で被爆し、背中の中のやけどのため1年9カ月もうつぶせのまま生死の境をさまよいました。1970年にフィルムが発見され、谷口さんは決意します。生かされた者

の使命として原爆のむごさと苦しみを語り続けていかなければ、と。「生きている限り、戦争と原爆被害の生き証人として、その実相を世界中に語り続けることを、平和を願うすべての皆さんの前で心から誓います」。これは被爆 70 年に当たる 2015 年の長崎原爆の日に、自らの体験とともに谷口さんが表明した「平和への誓い」の力強い言葉です。

後を追うかのように世を去った土山さんは医学生でした。長崎に入って被爆したのは原爆投下の翌日ですが、兄一家の 4 人を失いました。長崎大学の研究者として力を尽くす一方、核兵器廃絶を求める市民運動の理論的、精神的支柱として被爆地を長年にわたって支えました。提唱してきた核兵器禁止条約や北東アジアの非核地帯は、被爆地の思いを国際的な政策づくりに生かすものでした。

亡くなった 2 人が待ち望んだ核兵器禁止条約がついに制定されましたが、廃絶への道はまだ遠いのが現状です。その上に北朝鮮が 6 回目の核実験を強行し、北東アジア情勢は一段と緊迫化しています。

こうした状況だからこそ谷口さん、土山さんの思いを確かに受け継ぎ、被爆地の長崎、そして広島が心一つにしてもう一度、口にしなければなりません。二度と核兵器は使ってはならない、戦争を起こしてはならない、と。被爆者のみなさんが高齢化し、世を去っていったとしても、原点の訴えを風化させてはなりません。

関連記事は次のアドレスで読めます

○北朝鮮 6 回目の核実験 監視時計リセット
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=76297>

○社説 北朝鮮核実験
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=76268>

○土山秀夫さん死去 広島の被爆者ら悼む
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=76252>

○谷口稜暉さん死去 ヒロシマでも悼む声
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=76176>

○被爆体験 語り手 144 人に 原爆資料館調査
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=76233>

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*ドイツ・ランゲン市

ポスター展「世界のヒバクシャ」を開催し、被爆イチョウの種の贈呈式を実施

ドイツ・ランゲン市は、7 月 31 日～8 月 10 日、市庁舎において核戦争防止国際医師会議（IPPNW）作成のポスター展「世界のヒバクシャ」を開催し、期間中約 250 人が見学に訪れました。

ランゲン市は、平和首長会議が取り組む被爆樹木の普及活動に賛同しており、広島市の被爆イチョウから採取された種を育て、市内各地に植樹する予定です。7 月 31 日のポスター展開会式において、被爆イチョウの育成を委託する 3 団体「ヘッセハウス財団」「ランゲン園芸協会」「ランゲン Ginkgo Haus」に対し、ランゲン市長から種の贈呈が行われました。今後、この 3 団体によって苗になるまで育てられた後、ランゲン市内の公園、共同墓園、ウォルフスガルテン城の植物園等に植樹される予定です。

▼記事全文（英語、平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/english/whatsnew/activity/170913_activity_Langen.html

*ノルウェー・ハルデン市、クヴィネスダール市ほか 2 市

被爆イチョウ二世植樹の取組

平和首長会議からノルウェーに贈られた被爆イチョウの種が、その後苗木に育ち、今年、4 つの加盟都市で植樹が行われることになりました。

2014 年、平和首長会議副会長都市であるフロン市に被爆イチョウの種が送られ、フロン市近郊のノルウェー生命科学大学で育成されていました。イチョウがノルウェーの寒さに適合するか不明でしたが、無事に苗にまで生長し、この度海岸沿いの加盟都市ハルデン市、クヴィネスダール市、ラルヴィク市、フロン市での植樹が決まりました。

植樹の第一弾は、8月26日に、ハルデン市において行われました。続く8月29日、クヴィネスダール市において、国連が定める「核実験に反対する国際デー」に合わせて植樹が行われました。植樹式には同市市長のほか、多くの一般市民や学生が参加し、音楽イベントが併せて催されました。

ラルヴィク市、フロン市での植樹は、9月中に行われる予定です。

▼記事全文と写真（英語、平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/english/whatsnew/activity/170913_Norway_planting.html

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議行動計画に基づく取組を実施する海外の都市等に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧（海外）（9月10日現在）（平和首長会議ウェブサイト）

http://www.mayorsforpeace.org/jp/images/news/new_list/2017_List_of_Activities_jp.pdf

=====

◆「核兵器禁止条約」に関する市民署名活動についてのお知らせ

=====

平和首長会議では、2010年12月から「核兵器禁止条約」の早期実現を目指した市民署名活動に取り組んできました。皆様のご協力により、2017年9月1日現在、2,610,692筆の署名が集まっています。

今年7月に核兵器禁止条約が採択されたことから、8月7日～10日長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、今後は「ヒバクシャ国際署名」と連携し、核保有国等に対し「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動を展開していくことが決定されました。

新しい署名用紙については、準備が整い次第お知らせします。なお、これまでの署名用紙も引き続き受け付けます。

=====

◆平和首長会議情報システムについてのご案内

=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を運用しています。このシステムを利用して、各加盟自治体の情報の検索、各自自治体の情報の更新等をしていただくことが可能です。平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用いただければ幸いです。

なお、首長や担当者の氏名・連絡先等、システムに登録している情報に変更が生じた場合は、平和首長会議事務局に修正依頼するのではなく、本システムにログインし、速やかに修正してください。ログインID等が不明の場合は、メールにてお問合せください。各自自治体の情報を常に最新のものに更新していただきますようお願いいたします。

▼システムのURL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご質問等があれば、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Email: mfpssystem@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆平和首長会議加盟自治体数：162カ国・地域 7,439自治体

=====

今月新たに22自治体が加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は9月1日現在で7,439（162カ国・地域）となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、北海道豊頃町が加盟し、国内加盟数は1,683（加盟率96.7%）となりました。

海外については、エルサルバドルのサンミゲル市が加盟しました。第10回「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」で同市に寄港したピースボート一行の呼びかけにより加盟が実現しました。また、テヘラン

平和博物館の呼び掛けにより、イランの9都市が加盟しました。ドイツでは、副会長都市及び同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、5自治体が加盟しました。この他、イラク、エルサルバドル、カメルーン、スペイン、モザンビーク、フランスから計7自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしく申し上げます。

▼9月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/jp/images/news/new_list/2017/newmembers1709_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp